



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 ソーシャルワイヤー株式会社 上場取引所 東
コード番号 3929 URL <https://www.socialwire.net/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢田 峰之
問合せ先責任者 (役職名) 管理部 経営企画Gr. 部長 (氏名) 松浦 貴昭 TEL 03-5363-4872
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,138	0.8	△50	—	△54	—	△53	—
2023年3月期第1四半期	1,128	△3.2	△109	—	△97	—	△88	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △53百万円 (—%) 2023年3月期第1四半期 △85百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△8.89	—
2023年3月期第1四半期	△14.79	—

(注) 2023年3月期第1四半期及び2024年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、希薄化を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	4,670	151	3.0	23.83
2023年3月期	4,724	211	4.2	32.84

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 142百万円 2023年3月期 196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,746	△21.4	58	—	20	—	4	—	0.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	6,108,600株	2023年3月期	6,108,600株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	136,006株	2023年3月期	136,006株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	5,972,594株	2023年3月期1Q	5,972,594株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。また、ホームページにも同日掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症がピークアウトし収束に向かうなか、行動制限が緩和されたことを受け、経済活動の正常化に向けた動きが進む一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、急激な為替相場の変動などの金融資本市場の変動リスク等の影響、及び原材料・エネルギー価格の上昇等の影響により、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

このような市場環境のもと、コロナ禍以降のニューノーマル時代における市場環境の変化及び競争環境を鑑み、経営ビジョンを「全ての魅力にスポットライトがあたる社会へ」、経営方針を「付加価値の追求による企業価値の向上」とし、顧客の発信情報をより多く認知させ、拡散させる新たな成長戦略を策定し、事業成長を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は1,138,561千円（前年同期比0.8%増）と増収となりました。また、利益につきましては、営業損失50,771千円（前年同期は営業損失109,087千円）、経常損失54,020千円（前年同期は経常損失97,205千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は53,099千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失88,321千円）となりました。

各セグメント別の経営成績は、以下のとおりです。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去後となっております。

(デジタルPR事業)

デジタルPR事業は、企業や官公庁・団体等に対して、製品やサービス・事業等に関するリリース配信サービス、インフルエンサーPRサービス、新聞・雑誌・WEB・SNS等各種メディアの調査・報告サービス等を運営しております。

当第1四半期連結累計期間において、リリース配信サービスは、新規獲得活動を抑制し、既存顧客の取引単価を大幅上昇させることを優先事項として取り組みました。一方、大型連休前後の動きが軟調だったこともあり、利用社数、配信数ともに減少（それぞれ前年同期比14.7%減、前年同期比19.4%減）となりました。インフルエンサーPRサービスは前期末より引き続き、セミナー等の積極的な販促活動に基づいた営業活動の効果もあり、案件数は増加（前年同期比13.0%増）しました。クリッピングサービスについては、営業体制見直しによる軟調もあり案件数は減少（前年同期比11.7%減）しました。また、クリッピングサービスよりスピニアウトしましたリスクチェックサービスについては、昨今のコンプライアンス意識の高まりを受け、案件数は大幅に増加（前年同期比49.2%増）しました。

この結果、デジタルPR事業の売上高は603,296千円（前年同期比3.3%減）となり、セグメント利益は88,099千円（前年同期比0.3%増）となりました。

(シェアオフィス事業)

シェアオフィス事業は、アジア主要5都市（東京（新宿2拠点、六本木、青山、渋谷、新橋、日本橋）、横浜、仙台、福岡、シンガポール）でシェアオフィスサービス、クラウド翻訳サービスを運営しております。

主要サービスであるシェアオフィスについては、昨年度に日本橋拠点・福岡拠点を開設した増加寄与もあり、国内拠点について累積稼働席数は増加（前年同期比11.2%増）となりました。海外拠点については、前年度にタイ拠点の撤退を行う等、リストラクチャリングによる統廃合の進行もあり、累積稼働席数は大幅に減少（前年同期比26.8%減）いたしました。費用面におきましては、原材料不足や円安等による資材高騰、エネルギー費用の高騰による運営費用の増加、昨年度開設をおこなった新規拠点の損益分岐稼働率までの費用負担が重く、シェアオフィス事業の黒字化まで時間を要しております。

なお、横浜拠点の事業運営を2023年10月31日で終了すること、及び国内シェアオフィスサービス（横浜を除く9拠点）を新設分割方式にてヒューリック株式会社へ譲渡することを2023年5月12日開催の取締役会にて決議し、新設会社の全株式をヒューリック株式会社に譲渡する旨の株式譲渡契約書は2023年5月12日付で締結しており、2023年6月29日に開催しました当社定時株主総会にて、新設分割と株式譲渡に係る議案について決議しております。

この結果、シェアオフィス事業の売上高は535,264千円（前年同期比6.1%増）となり、セグメント損失は28,728千円（前年同期は104,272千円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の額は4,670,403千円と、前連結会計年度末に比べ53,685千円の減少となりました。資産の減少の主な要因は、現金及び預金が62,942千円増加した一方、差入保証金が143,313千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の額は4,519,227千円と、前連結会計年度末に比べ6,911千円の増加となりました。負債の増加の主な要因は、短期借入金の返済により51,000千円減少した一方、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む。）の借入れにより59,848千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の額は151,175千円と、前連結会計年度末に比べ60,596千円の減少となりました。純資産の減少の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失53,099千円を計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期業績見通しについては、2023年5月22日に公表した業績見通しから変更はありません。

なお、業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,014,895	1,077,837
受取手形、売掛金及び契約資産	342,358	291,099
その他	324,564	437,815
貸倒引当金	△4,524	△3,920
流動資産合計	1,677,293	1,802,831
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,646,792	1,651,077
工具、器具及び備品	514,032	517,710
使用権資産	422,127	428,676
その他	69,910	72,375
減価償却累計額	△1,420,661	△1,484,737
有形固定資産合計	1,232,201	1,185,103
無形固定資産		
のれん	87,871	80,139
ソフトウェア	184,620	168,883
その他	623	36,609
無形固定資産合計	273,115	285,632
投資その他の資産		
差入保証金	1,474,624	1,331,310
その他	160,566	161,278
貸倒引当金	△93,713	△95,753
投資その他の資産合計	1,541,478	1,396,835
固定資産合計	3,046,795	2,867,571
資産合計	4,724,089	4,670,403

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	533,000	482,000
1年内返済予定の長期借入金	528,288	886,937
未払金	334,536	302,341
未払法人税等	20,766	5,843
契約負債	503,384	535,215
リース債務	100,439	103,243
その他	528,790	568,448
流動負債合計	2,549,206	2,884,029
固定負債		
長期借入金	1,194,813	896,013
資産除去債務	659,407	659,802
リース債務	57,957	42,632
その他	50,931	36,749
固定負債合計	1,963,110	1,635,198
負債合計	4,512,316	4,519,227
純資産の部		
株主資本		
資本金	354,789	354,789
資本剰余金	294,556	294,556
利益剰余金	△402,303	△455,402
自己株式	△83,906	△83,906
株主資本合計	163,136	110,037
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,214	2,214
為替換算調整勘定	30,846	30,094
その他の包括利益累計額合計	33,060	32,308
新株予約権	2,632	212
非支配株主持分	12,943	8,617
純資産合計	211,772	151,175
負債純資産合計	4,724,089	4,670,403

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,128,523	1,138,561
売上原価	685,212	661,911
売上総利益	443,310	476,649
販売費及び一般管理費	552,398	527,420
営業損失(△)	△109,087	△50,771
営業外収益		
受取利息	316	662
受取手数料	150	139
為替差益	1,474	1,440
リース解約益	17,097	—
その他	604	975
営業外収益合計	19,642	3,218
営業外費用		
支払利息	5,884	5,588
その他	1,876	878
営業外費用合計	7,761	6,467
経常損失(△)	△97,205	△54,020
特別利益		
新株予約権戻入益	—	2,420
特別利益合計	—	2,420
特別損失		
減損損失	29,203	—
特別損失合計	29,203	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△126,408	△51,599
法人税、住民税及び事業税	2,410	1,930
法人税等調整額	△35,332	△470
法人税等合計	△32,922	1,459
四半期純損失(△)	△93,486	△53,059
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,164	39
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△88,321	△53,099

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△93,486	△53,059
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	—
為替換算調整勘定	8,255	△676
その他の包括利益合計	8,255	△676
四半期包括利益	△85,231	△53,736
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△80,253	△53,850
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,977	114

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

「セグメント情報」

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタルPR 事業	シェアオフィス 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	624,371	504,152	1,128,523	—	1,128,523
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	414	414	△414	—
計	624,371	504,566	1,128,938	△414	1,128,523
セグメント利益又は損失 (△)	87,826	△104,272	△16,446	△92,641	△109,087

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△92,641千円は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「シェアオフィス事業」セグメントにおいて、新型コロナウイルス感染拡大等による影響を受け、シェアオフィス事業の撤退や一部フロアの賃貸借契約の解約を決定した拠点について、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては29,203千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタルPR 事業	シェアオフィス 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	603,296	535,264	1,138,561	—	1,138,561
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	276	276	△276	—
計	603,296	535,541	1,138,837	△276	1,138,561
セグメント利益又は損失 (△)	88,099	△28,728	59,371	△110,142	△50,771

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△110,142千円は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。